

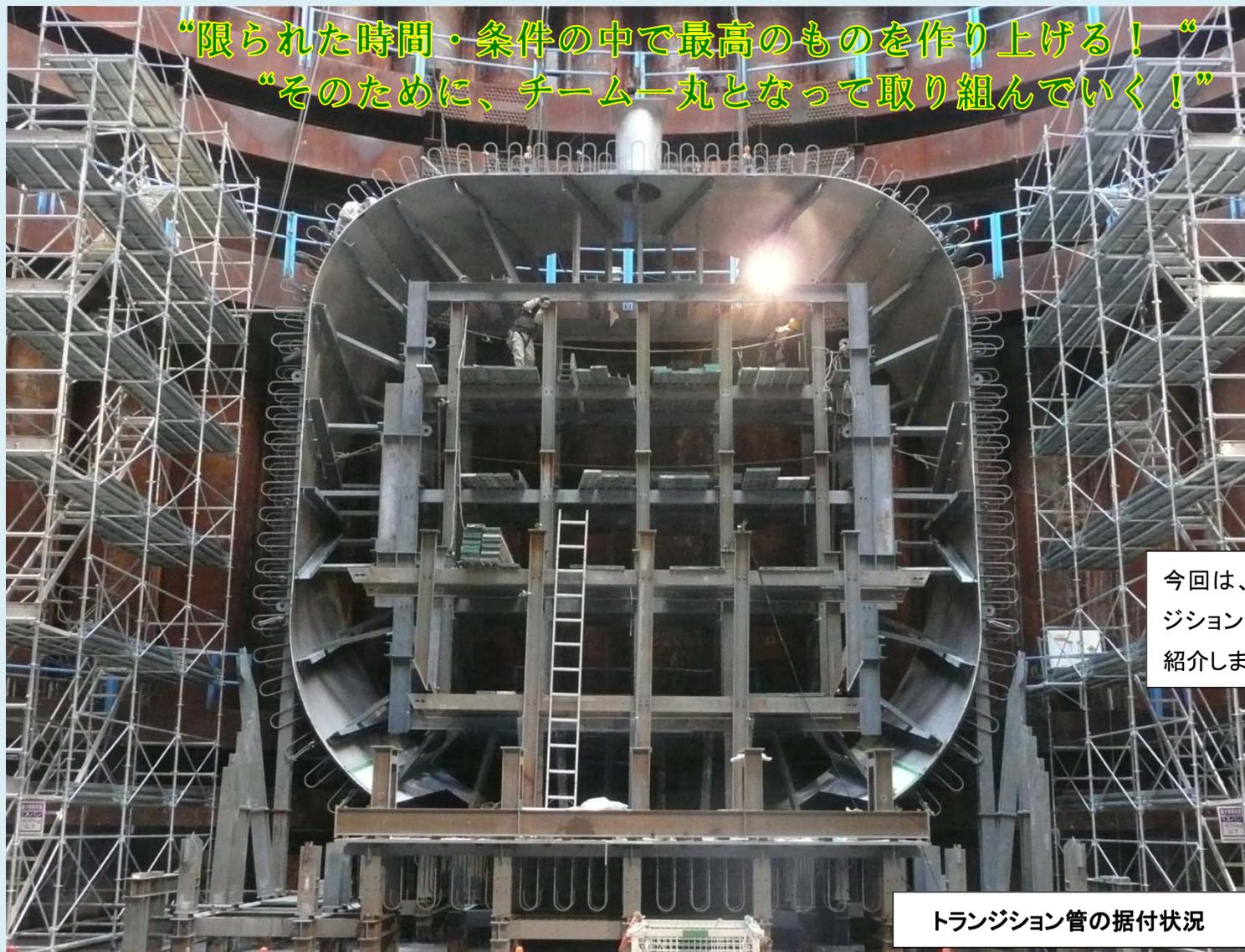
魅せる！  
現場

現場を支える人々編

“全力を出す”

IHI  
Realize your dreams

“限られた時間・条件の中で最高のものを作り上げる！”  
“そのために、チーム一丸となって取り組んでいく！”



今回は、据付真最中の「トランジション管」の施工についてご紹介します。

所長  
てらつじ おさむ  
寺辻 修



トランジション管の据付状況

天ヶ瀬ダム再開発修理用ゲート設備新設工事

株式会社IHIインフラシステム

## 【 製品輸送・養生 】

工場製品を現場近くに輸送し、養生しました。



(作業開始前の風景)



開閉装置・扉体等を輸送し、養生作業を進めました。



(養生作業終了後の状況)

製品保護のためシート養生しています。



水門生産管理課  
はせがわ まこと  
長谷川 誠

お客様指定場所への輸送・養生作業は初めてで、試行錯誤の連続です。良い品物を良い状態で納められるように頑張ります。



生産管理部  
たけなか しげはる  
竹中 重治

輸送・養生作業の監督をいきなり言われびっくりしました。いつもは工場内での作業が多く、今回のように郊外での作業は勝手が違うこともあります。"やってみる・トライ精神"で頑張ります。もちろん無事故・無災害で終わらせます。

## 【 トランジション管 吊り下し・据付 】



(作業開始前)



ブロックの重量は、約 5000kg (関取 40 人ぐらいです) 地上から 50m 下の立坑内部に吊り下ろします。

お互い声掛け合いながら、細心の注意を払い、作業を進めます。



今回の据付チーム

年齢は 20 代から 50 代までと幅広く、休憩時間も一緒に話し合う親子関係のようなまとまりのあるチームです。



水門技術部工事課  
やまもと いさむ  
山本 勇

期間が短いのでやるのが目白押し、でも、ひとつひとつ確実に終えて次のステップへ、"危険な作業はしない、させない"を徹底し、作業員一人一人の性格を見ながら、大和工機の責任者と話し合いながら作業を進めます。みんなで力を合わせ、最高のものを作り上げましょう！

天ヶ瀬ダム再開発修理用ゲート設備新設工事

株式会社IHIインフラシステム



クレーンで吊りあげます。



ダム湖側に旋回し、立坑上空へ



ゆっくりと下ろしていきます。



所定の位置へセット、仮固定してワイヤロープを外します。



大和工機(株)  
いぬい けんいちろう  
乾 健一郎

長年この仕事をしています。自分の現場では、事故が起きたことが無いのが自慢です。この現場でもその記録を更新します。



大和工機(株)  
まつた ゆうすけ  
松下 愉介

この仕事はチームで動き、和気あいあいできるのが自分に合っていて好きです。良い品物を納められるよう頑張ります。



(株)サイガ  
にしぐち よしひろ  
西口 芳弘

クレーンのオペレーター筋でやってきました。吊り作業には絶対の自信があります。任せてください！



## 安全五原則

- 一、安全は全てに優先する
- 一、危険な作業はしない、させない
- 一、災害要因の先取り
- 一、ルールを守る
- 一、自ら努力する



Realize your dreams

弊社の安全への取組を示す、“安全五原則”に従い、安全作業をおこなっていきます。



立坑底部から見上げるときれいな青空が見えます。春は近いです。

## 天ヶ瀬ダム再開発修理用ゲート設備新設工事

次回は、天ヶ瀬ダム再開発主ゲート設備他新設工事の日立造船株式会社です。お楽しみに

株式会社IHIインフラシステム